

MS Office 365ガバナンスのためのZL

ZL UAの主なメリット

- **一元的リポジトリ**
O365で生成されたデータを、ファイルなどのその他の社内コンテンツと共にすべて一元的に管理。
- **一元的データコピー**
O365内の重複したメッセージやコンテンツをZLが統合し、ガバナンスの効率化とストレージ削減を実現。
- **一元的検索**
一元化されたリポジトリにより、O365データだけでなく社内のすべてのデータを検索可能。
- **検索深度**
ZL UAの検索機能は多岐におよび、フルテキストのキーワード検索、PQA、近接度検索、あいまい検索、ワイルドカード、概念検索などに対応。
- **完全なEDRM**
データサイロのない完全なエンドツーエンドEDRM機能。データの移動を伴わずにすべてのeディスカバリープロセスを提供。
- **コンプライアンス**
メールのジャーナル処理 (クロール処理との併用) により、コンプライアンス要件と削除不可データに確実に対応。
- **文書管理**
文書管理とeディスカバリーの両方の機能に同一のデータコピーを使用することで、シームレスな訴訟ホールドとライフサイクルにわたる保持を実現。

Microsoft Office 365のネイティブな機能だけで十分だと思いますか？

Microsoft Office 365 (O365) は、企業の Microsoft Office をクラウド化したプロダクトスイートで、クラウド環境におけるビジネスアプリケーションの標準と広くみなされています。O365 は一定のベーシックな情報ガバナンス機能を備えてはいるものの、一般的にはそれらの機能はスケラブルで長期的なソリューションではなく、暫定対応的な機能として捉えられています。

O365 には、エンドユーザー環境に広く浸透した複数世代のデータを生成するアプリケーションが備わっています。しかし、企業はMicrosoftを唯一のガバナンスプロバイダーとして決定する前に、コンプライアンス、eディスカバリー、アーカイブにおける各要件と将来予測される課題を十分に検討し、O365 のネイティブ機能だけで対応できるかどうかを評価する必要があります。現在のデータ量、将来のデータ増加予測、コンプライアンス要件、訴訟増加の可能性などを把握することが重要となります。

複雑なデータ環境の要件

組織ごとに検討すべき事項は異なりますが、以下の点を重視する場合には、O365環境向けに、ネイティブツール以外の情報ガバナンスプラットフォームの導入を検討することが推奨されます。

- **複雑な検索**
O365 では、キーワードや文字列、その他の複雑な検索の処理に時間がかかるため、カスタディアンと日付範囲に基づく検索に限定されます。
- **複数のコンテンツのサポート**
O365 のネイティブなガバナンス機能は、O365のクラウドエコシステム内のデータのみを対象とし、データの大部分がMSのコンテンツとなります。社内のファイルサーバー、ソーシャルメディアプラットフォーム、IM、その他非ネイティブのO365アプリケーションが使用されている場合、O365で直接データの管理とアクセスを行うことはできません。
- **厳格なコンプライアンス**
O365では、訴訟中のeディスカバリー検索で、BCCと配布リストの受信者が検出されないことがあります。さらに、O365のネイティブ機能では、メールのジャーナル処理が行われないため、完全なコンプライアンス機能が提供されません。
- **全訴訟項目を対象とするデータ管理**
O365には、複数案件に関わるデータの管理、重複データの排除、一元的リポジトリの機能がないため、O365では訴訟とストレージにかかわるコストがかさんだり、データが完全に制御できないリスクを伴います。
- **重複データの排除**
O365の基本ライセンスでは、すべての重複データはサードパーティのレビューアプリケーションにエクスポートされ、その後のeディスカバリープロセスで、さらに大量のデータの重複排除が必要になります。また、O365ライセンスを追加したり、より高額なライセンスを取得した場合でも、完全な重複データの排除はできません。

上記項目のいずれかに該当する場合、O365のネイティブツールに加えて、情報ガバナンスプラットフォームの追加導入が必要になります。特に規模の大きな企業や、上記の複数の項目に該当する企業では、企業データへのアクセスに伴って起こり得る問題を未然に防ぐために、専用のガバナンスプラットフォームの導入が不可欠です。とりわけ、リーガルチームにとっては、O365が提供する機能が限定的なため、煩雑な方法で、専用の別のeディスカバリーツールにデータをエクスポートしている企業も少なくありません。

ZL UAの主な特長

■ データの互換性

ZLは、Office 365環境で生成される全データのみならず、ファイルサーバーデータやソーシャルメディアやスキャン項目などの非構造化コンテンツと互換性をもち、真の統合型ガバナンスを実現します。

■ クロスマスター管理

重複ファイルを排除してリソースを節約し、重複データの詳細レコードをクロスリファレンス情報として保管します。

■ データサイロの排除

単一リポジトリを採用することで、全社レベルの情報ガバナンスが単一システム内で実行可能となり、O365のエンドユーザー環境も中断されることはありません。サイロを排除することで、データの移動や複製は不要になります。

■ 詳細なメールデータ情報を提供

ZLは、グループリストサーブやBCC情報内の個々の受信者を含む、メールの詳細データを収集し、検索を可能にします。

■ メールのジャーナル処理

O365では、単にメールのクローリングではなく、メールのジャーナル処理を行う場合には、別途、アーカイブが必要になります。

ZL Unified Archive®でO365を最大限に活用

O365スイートは、当初はデータを管理する目的というよりは、データを作成することを目的として構築されました。O365環境の基盤として、総合的でスケーラブルなガバナンスプラットフォームを導入することにより、O365の負荷が軽減されそのパフォーマンスが最大化される一方で、ZL Unified Archive® (ZL UA) において、長期的なガバナンスと管理機能を一元的に実行できるようになります。O365だけでは断片的なガバナンス機能しか提供されませんが、データサイロを使用せずに完全なEDRMのリーガル機能、詳細なコンプライアンスフィルター、ストレージの最適化機能を提供するZL Unified Archive®と併用することで、長期的なガバナンス基盤を実現できます。

このアプローチのメリットは、O365ベースのデータを、その他すべての非構造化コンテンツ (IM、ソーシャルメディア、ファイルサーバー、オフロードされたECMコンテンツ、Microsoft以外のデータ) と共に管理できるようになることです。ZL UAの一元的で柔軟なアーキテクチャーは、特にレコード管理者、リーガルチーム、IT部門のニーズに対応する上で、ネイティブなガバナンス機能よりも圧倒的に優れた機能を提供します。永久的ガバナンスのため全コンテンツが統合されるので、1つのシームレスな環境内で自由なデータのアクセスと管理が可能になり、O365環境がもたらす制限は排除されます。一元的なガバナンス環境では、相互関連データの管理機能を中央から実行できるため、煩雑なデータ転送や移行処理は不要になります。

O365の不足を補い完全なガバナンス機能を提供

長期的に展開するニーズに対応できるようにO365は構築されていますが、ネイティブのガバナンスツールで対応できない機能のギャップがあり、ギャップを埋めるには基本的ガバナンスプラットフォームの導入が必要となります。ZL UAは、O365のネイティブなガバナンスツールでは制限されている機能、または不足している主要な機能を提供します。

- **ジャーナル処理:** O365のネイティブなガバナンス機能ではメールのジャーナル処理機能は提供されないため、コンプライアンスの大半の状況で必要とされるWORM (Write Once Read Many) 機能を、ZL UAが提供します。ジャーナル処理により、各メッセージの送信時にその削除不可能レコードが保管され、送信後にそのデータにどのような変更が適用されても、確実にレコードが保持されます。
- **柔軟な検索:** O365のネイティブな検索機能はカスタディアンと日付範囲フィールドに制限され、キーワード、文字列、その他複雑な検索を実行すると検索に時間がかかります。ZL UAでは、詳細なフィルターオプションを指定して全社レベルで複雑な検索を実行でき、迅速かつ綿密なECAが可能になります。
- **訴訟ホールド:** Microsoft Office 365では、ホールドを適用できるのはExchange、SharePoint、Lyncのコンテンツのみです。データがその他の場所にある場合は、別のツールがプラットフォームを使用しなければなりません。さらに、O365はカスタディアン確認の通知機能も追跡機能も備えていませんが、ZL UAは、ワンクリックで訴訟ホールド機能と、カスタマイズ可能な通知テンプレートを提供します。
- **情報ガバナンス -- eディスカバリー、コンプライアンス、およびアーカイブにおける機能**が不足しているため、O365では徹底した情報ガバナンスを実現できません。ZL UAを、O365と統合することで、全データの特定、保持、処理、および生成において厳しいビジネスや規制からの要求に即した必須の機能レイヤを提供できます。ZL UAは、完全な情報ガバナンスを提供し、データ分析の基盤を確立します。

多くの大企業が、O365が提供するガバナンスの対応策の他に、結局は追加の対応を余儀なくされ、高額なコストを負担することになっています。早期に総合的なガバナンスプラットフォームを導入することで、ガバナンスに関連して生じるコストと時間を大きく削減することが可能になります。